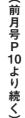
## 地盤業界のネットワーク化 多様化進む浅部地中熱利



ステムのモデルハウスでは60坪の面 茨城県水戸市にあるジーベックシ

積で、 てヒートクラスターを2箇所設置 している。建物に関しては茨城県

40mの深さの採熱穴を掘っ

断熱の木造2階建。このジーベッ で坪単価あたりプラス5万円から クシステムは施工費用は新築住宅 の棟匠が建設。

## 価格や性能で幅広く 浅部地中熱の普及で拍車

明である。 が、2015年はなかったので不 託調査が2年おきに行われていた しては環境省からの工業会への委 である。なお、業界全体の実績と た下地造りが進んできている状況 幅が出てきており、普及に向け 熱の開発で商品価格帯や性能にも あったものの、近年は、 費者のマインドも弱まりがちで はマンションの地盤の事件から消 比べると伸び悩んでおり、 地中熱の業界はソーラー発電に 浅部地中 昨年末

熱工事ができるようになったこと 際の地盤改良工事のついでに地中 コストが4分の1になり、新築の 要だった杭の深さを浅くして、 年春にコロナが発売したシステム で、これまで50mから100m の杭を5本打ち込むことで掘削 ルプファイブシステムは、 10

地面の掘削方法は2種類

① HEAT CLUSTER (ヒートクラスター) …10 mから 200 m

② DIRECT CLUSTER…既存の井戸を利用して浅い深度で採熱

ほど掘削 (建物面積や地下水の分布によって変動)

12万円ほどかかる。 24時間換気で基礎

比べるとハウスメーカーでの採用

で業者の参入度が高まり、

従来と

約150万円ほど。高気密・高断 熱の新築住宅向けのシステムであ mの深度の深さで掘削。工事費は 格であるジオパワーシステムは5 を行うシステムもある。その代表 ヒートポンプを使わずに掘削だけ なっている。安価なものとしては スト競争の中で目立った動きと 1まで削減するという。 掘削深度が浅いものも近年はコ 冷暖房エネルギーを約4分の 建物の条件によっても異なる



パルプファイブシステム

いう。

及に期待が持てるようになったと が大きく増加したので、今後の普